

1 スクール・ミッション

「校是『至誠』のもと、何事にも誠心誠意全力を尽す生徒を育成すること、学校生活に主体的に取り組み、実社会で生きる力を身に付けること、互いの人権を尊重し人格を認め合う人間関係の形成に努めること」を教育目標とし、キャリア教育を充実させ、誠実に行動できる生徒を育成します。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ア 定時制課程における学習活動を通して、多様に変化する実社会で生き抜くための基礎的な力を育成する。
- イ 規律を守り、他者と協調しながら主体的に行動する中で自尊感情をもつとともに、多様な価値観や文化等を尊重する意識を醸成する。
- ウ 基本的な生活習慣や適正な職業観や勤労観を育成し、自己理解に基づいた進路実現力を高める。
- エ 学習活動や特別活動、部活動等を含め、何事にも誠心誠意全力を尽くす姿勢や態度を育む。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ア “基礎・基本の徹底”という方針のもと、スモールステップを実践し、「分かった」や「できた」を大切にするとともに、主体的で対話的な授業を全ての教科・科目で展開しながら、普通科の学校として総合的な力を身に付けさせる。
- イ デジタル社会に対応し、コンピュータリテラシー等を身に付けられるよう、入学直後から情報教育に力を入れるとともに、全教科・科目においてICTを活用した授業を展開する。
- ウ 遠足や文化祭、スポーツ大会等の体験的な行事や活動を数多く計画・実施し、年齢や国籍等にかかわらず、自分や他者を認め合える人間関係を形成する。
- エ スクールカウンセラーによる特別講座やセーフティ教室、防災講話等において、関係機関との協力を図りながら基本的な生活習慣や公共心、道徳心を涵養する。
- オ 進路適性検査の実施や職業能力開発センターとの連携、ユースソーシャルワーカーによる進路支援等、教育相談を重視したキャリア教育を行う。

(3) アドミッション・ポリシー

- ア 校是「至誠」の下、学校生活に主体的に取り組み、規律を守ることができる生徒
- イ 将来への展望をもって学習に取り組み、自らの夢・希望の実現のために、個性・能力に応じた進路実現を図ろうとする生徒
- ウ 自分と他者を大切にす気持ちを持ち、互いの人権を尊重し、人格を認め合う人間関係の形成に努め、課題解決に前向きに取り組もうとする生徒

3 中期的目標と方策

(1) 学習指導

- ア 生徒個々の進路希望を叶えるための学力を身に付けさせる授業の充実を図る。

(2) 進路指導

- ア 段階的・系統的な進路指導を組織的に行い、自らの将来を設計できる能力を伸長させる。

(3) 生活指導

- ア 学校生活への適応と定着を図り、規範意識を高め、誠実に行動できる生徒を育成する。
- イ 学校行事や生徒会活動、部活動に主体的に取り組ませ、成功体験の中で自尊感情を高めさせる。

(4) 保健指導・給食指導

- ア 適切な学校保健計画を作成し、健全育成や食育など生徒の心身に関わる指導を充実させる。
- イ 生徒の自己管理能力を育み、自身の精神的・身体的な健康に気遣う態度を身に付けさせる。

(5) 募集・広報活動

- ア 本校定時制課程の存在を広く都民に知ってもらい、入学希望者を増やす。

(6) 学校運営・組織体制

- ア 企画調整会議・職員会議をより活性化し、分掌・学年組織のより連携した運営を図る。

4 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導

(目標) 義務教育段階の学び直し、基礎・基本の定着から大学受験等まで、様々な生徒個々の進路希望を叶えるための学力の向上を図る学習支援体制の確立

(方策) ① 生徒の理解度に合わせた教材や学習支援を工夫し、進路実現に向けた学力の向上を図る。

- ② 外国籍等日本語を母語としない生徒への日本語習得の支援のため、ルビ振り教材を準備するとともに、国際理解教育を通じて日本国籍生徒との相互理解を深める取り組みを進める。

イ 進路指導

(目標) キャリア教育の充実による進路意識の高揚と将来設計の明確化

(方策) ① 生徒が主体的に将来設計に取り組むための進路行事の内容充実を図る。

② 各種検定の実施など、スモールステップで進路意識を高める取り組みを充実させる。

③ ハローワークとより密接に連携し、キャリア教室の実施や就職希望者の模擬面接、企業見学、採用試験受験の支援などの取り組みを進める。

ウ 募集・広報活動

(目標) 本校に入学を希望する中学生等の増加

(方策) ① 不登校だったり学び直しを考えたりしている中学生、外国籍など様々な人に本校の存在を知ってもらう広報活動を行う。

② ホームページや学校案内を通じて広域通信制にはない夜間定時制のよさを発信する。

エ 生活指導

(目標) 活気にあふれ規律ある学校生活の確立

(方策) ① カウンセリングスキルを駆使し、深い生徒理解に基づく良好な人間関係を形成する。

② 主体的な学校生活の実現のため、生徒会活動などの自主的な運営を支援する。

オ 保健指導・給食指導

(目標) 健康的な生活習慣の確立と正しい食の知識に基づく食習慣の改善

(方策) ① 栄養バランスのとれた食事を摂取することで、健康増進や衛生環境の向上を図る。

② 生徒情報を全ての職員間で共有し、協働的な教育相談体制により健康管理を行う。

カ 学校運営・組織体制

(目標) 生徒の自己実現の支援に全力を傾注する学校運営の組織的な展開

(方策) ① 分掌・学年組織の連携、経営企画室との連携により、校内の組織的な教育力を高める。

② 情報の共有に努め、生徒支援策を様々な工夫し実践する。

キ 健康で明るい職場づくり

(目標) 教職員が心身共に健康を維持できる同僚性の高い職場づくり

(方策) ① 計画的な業務の進行管理による効率化でライフ・ワーク・バランスを実現する。

② メンタルヘルスの維持に努め、何でも相談でき意見を言うことのできる職場をつくる。

(2) 重点目標と方策

ア 学習支援体制の確立

① 生徒の進路希望を叶えるための学力の向上を図る授業展開を工夫し、積極的に授業公開する。

イ キャリア教育の充実

① キャリア教育を通して将来設計を考えさせ、生徒が意欲的に自己実現に取り組ませる。

② ユースソーシャルワーカーを活用した個人面談等を通じて中途退学者を減らす。

ウ 入学希望者の増加

① 学校案内やホームページを積極的に活用して情報発信に努め、本校の認知度を高める。

エ 規律ある学校生活の確立

① 自他を尊重する意識を高め、他人を思いやる心を育成し、いじめや暴力をなくす。

② 特別指導では、カウンセリングマインドをもって共感的な視点から指導を行う。

③ スポーツ大会・文化祭などを通してオリンピック・パラリンピック教育を推進する。

オ 生活習慣の確立

① HR担任とスクールカウンセラー、保護者の連携で、生徒のきめ細かな状況把握に努める。

カ 教育力の向上

① 学校運営連絡協議会などを通じて、教育活動に対する意見や学校課題の改善策を取り入れる。

キ ライフ・ワーク・バランスの実現

① 全教職員が心身共に健康で業務に邁進できる職場環境を構築する。

(3) 数値目標

ア 学校評価アンケートの授業に関する自己評価について「あてはまる」の割合を100%に

イ 学校評価アンケートの教員の授業に対する評価について「あてはまる」の割合を生徒95%、保護者80%に

ウ 学校評価アンケートの学校行事への積極的な参加について「あてはまる」の割合を85%に

エ アルバイトを除く卒業後の進路決定者の割合を100%に

オ 当初在籍者に対する全学年平均の進級率を85%に